

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ +85 °C (注1)	保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C (注2)	
	電 圧	AC 125 V	使用湿度範囲	40 % ~ 80 %	
	電 流	0.5 A	保存湿度範囲	40 % ~ 70 % (注2)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	40 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 全振幅 1.5 mm, 3 方向各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2 °C、湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上	○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15~+35→+85→+15~+35 °C 時間 30 → 10~15 → 30 →10~15 分 を 5 サイクル試験する。	③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗: 50 mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 39)	② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合: はんだ温度 260±5 °C 浸せき時間 10±1 秒間	性能に影響する樹脂部の溶解が無いこと	○	—
		はんだごての場合: こて温度 350 °C はんだ付け時間 3 秒以内		○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3 °C, 浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が新しいはんだでぬれていること。	○	—
		</			